

## 令和5年度 市長と語るまちづくり懇談会（中学生）会議録

日 時：令和5年12月27日（水）午後1時から午後2時30分まで

場 所：学び・交流プラザ

テーマ：中学生が創る未来の周南市

出席者：周南市内の中学生 49名

周南市長

シティネットワーク推進部（部長、市民の声を聞く課）

### 1 懇談会の流れ

- (1) 開会
- (2) 懇談
- (3) 閉会

### 2 懇談の内容

○：中学生 ●：市長

【余暇の時間にどのように過ごしているか、特に興味があること、夢中になっていることなど】

○音楽鑑賞、楽器演奏、ドラマ視聴、ストレッチや筋力トレーニング、読書、スポーツ、地域のイベントへの参加、アニメ、ゲーム、カラオケ、数学、You Tube の視聴、部活動、アクロバットなど

●皆さんは、感性豊かな多感な時期である。中学、高校、若い時にいろいろな経験をして欲しいと思う。それが皆さんの人生の種まきになる。皆さんはいろいろな可能性を持っているので、何の花が咲くがわからないし、いろいろな花が咲くと思う。

【生活するうえで、周南市に足りないもの、欲しいもの、この町に必要なもの、期待すること】

○地域の人や同世代との交流する場が増えたらよい。交流することで考えが深まり、自分の成長につながると思う。

●コロナ禍で交流できない時期があった。交流することは大切で、自分の意見を人に伝え、他の意見を聞くことで自分を高めることができる。いろいろな交流できる場を作っていきたいと思うので、皆さんも参加してほしい。

○ひとり一人がこの町を良くしようとする志を持ち、人口や働く場所が増え、市内全域に賑わいがあること。

●高い志を持つことで、素晴らしい町になる。自分事としてこの町のことを考えてほしいと思う。人口減少を食い止めることが課題である。自分もこの町のために何ができるかいつも考えている。

○様々な世代が交流できる場が少ないと思うので、全世代で集まり日本の遊びを行うとよい。

●地域の中では、いろいろな世代が交流する企画が多くあると思う。コロナ禍で皆さんが交流したい時期に参加できなかったと思う。今年から、様々な行事が地域でも行われつつある。ぜひ参加して、多くの世代と交流してほしい。行事の企画の方にも皆さんの力を貸してほしい。

- 中山間地域における高校への通学手段の充実を図ってほしい。公共交通を充実させてほしい。バスは、徳山方面だけで、新南陽、下松方面に行く方法がない場合もある。主要駅まで無料バスを出してほしい。
- 高校生の通学については、現在、施策を考えているところである。しっかり検討していく。
- いろいろな世代が集える場所があればよい。徳山駅周辺が更に市民の憩いの場所になる施設、自由に遊べる屋内施設、小規模で安心安全な遊園地、中山間地域の魅力を生かした施設、コンビニートを生かした資料館や体験型の活動スペースが増えれば県内外からも多くの人が訪れると思う。
- 徳山駅周辺は、もうすぐ新しい商業施設やホテルやマンションなどがオープンする。現在の動物園に遊園地はないがリニューアルを進めて、皆さんに体験などの提供ができるよう取り組んでいるところである。
- これか始まる部活動の地域移行に期待している。生徒数の減少に伴い部活も部員も少ない。競技内容も限られ、少人数だと活動や練習内容が限られる。地域移行すれば活動がもっと活性化すると思っている。
- 部活動の地域移行については、今、教育委員会が全力で取り組んでいる。先日も、地域移行についてもシンポジウムが行われた。ファシリテーターからも、周南市の地域移行の様子は全国でも注目されていると言われた。地域でも、どのようにしたら中学生が部活動を楽しめ、強化できるか考えてくださり、市全体で地域移行がこれまでよりもバージョンアップした形となるよう検討しているところである。令和8年にはすべてを地域移行することになるので楽しみにしてほしい。
- 中学生が遊ぶ場所が少ない。身近で遊んだり体を動かせる施設があればよいと思う。
- 皆さんの思いもよくわかるので、どのようなものが必要か皆さんと一緒に考えていきたい。
- 地域に、大型マーケットや気軽に遊べる場所がほしい。地域の少子高齢化も食い止めることができると思う。
- 市でスーパーなどを造ることはできないが、民間の力を借りながら元気なまちづくりを進めていかないといけない。
- 道の整備をしてほしい。自転車で通学しているが、歩いていると気づけない段差や危険な曲がり角があるので改善してほしい。
- 具体的な場所を教えてください。様々な声を生かして改善を図りたいと思う。ホームページで紹介しているが、道路の危険箇所や野犬の通報アプリを導入している。これらを活用し、写真などを撮って通報してほしい。
- 身近な所にショッピング施設、コンビニ、屋内型の公園、公共のごみ箱、職場体験ができる施設がほしい。学校のトイレを洋式化し、きれいに改善してほしい。
- 学校のトイレは、年次計画を立てて、改善を図っているところである。コンビニなどを市が造ることはできないが、皆さんにとっては大切なものであろうと思うので、全体の中で考えていきたい。
- 公共交通を便利にしてほしい。JRの岩徳線を使うが便数が少ない。
- 昨年のダイヤ改正で、徳山駅に停車するのぞみも1日15本から9本になった。減ることによって町の機能が低下してしまうのでJRにも、商工会議所の皆さんや周辺の市と一緒に要望し様々な活動をしている。大切なものなのでしっかり守っていきたい。

- トイレの洋式化を進めてほしい。2020年の学校のトイレの洋式化率は、山口県は全国で46位、37.1%である。洋式化すれば、高齢者も学校のトイレを足腰に負担なく使える。
- 公共施設でも順次改修を進めているが、学校の体育館は敬老会など地域の行事でも使われるので、洋式化を進めていかないといけないと思っている。予算の確保に努めていきたい。
- 中学生が気軽に遊べる場所が少ない。バスケットボールやサッカーのコートを造ったり、市民が自由に使える体育館があれば、体を動かせるし経済的にもよいと思う。
- 市でも、施設を造る際に子どもを主体とした遊び場を考えている。
- 自分たちが住んでいる地域にコンビニがほしい。
- コンビニは、民間にお願いしていたが最終段階で実現できなかった。皆さんの気持ちはよくわかるので、現在あるスーパーやお店を大切にしてほしい。
- 大型商業施設を整備してほしい。若い世代が集まる場所を造ることで、さらに周南市を活性化させることができると思う。若い世代が増えると、高齢者を支える仕組みもできると思う。
- 駅前の再開発も、形も見えつつある。成功するように応援してほしい。
  
- 皆さんのまっすぐな気持ちがよくわかった。考えることはとても大切で、皆さんの意見を参考にしてこれからのまちづくりに生かしていきたい。地域には、他にない素晴らしいものがある。無いもの、足りないものを認めながら、有るものを大切にしていくなちづくりを進めていきたいと思っている。皆さんも、暮らしていく中で住んでいる地域に誇りを持っていただきたいと思う。

**【大人になって働き、結婚し、子育てをするなど町に住み続ける、活躍するには周南市がどのような町であってほしいか】**

- 自分たちの生活を傍で支えてくれる町であってほしい。子どもが遊ぶ場所が少ないので、子ども達が楽しく過ごせるようにしてほしい。
- テーマパークなど身近に遊ぶ場所があるとよい。
- 子どもから高齢者まですべての世代が過ごしやすく、住みやすい町になってほしい。子どもは、体を動かすことは大切で、心も発達する大切な時期であるので遊ぶ場所が必要になる。また、高齢者は、公共交通機関を使う機会が多いが時間や便数に縛られて、移動しにくい状況なので移動しやすく、過ごしやすい町にしてほしい。
- 安心安全な町であってほしい。地域ではクマや野犬が出没したり、不審者情報があることもあり登下校に不安なことがある。将来、子育てをする際に子どもが安心安全に学校に通えるような対策を取ってほしい。
- クマが死んでいることもあったので、市がすぐ対処してほしいし、出脱もしないようにしてほしい。
- 緑があふれ、景観がきれいでごみのない衛生的な町であってほしい。人それぞれの個性が尊重され、得意なことを生かせる働きやすい職場が多く在ってほしい。
- 楽しく、安心して暮らせる町であってほしい。多くの種類のお店や、周南市にしかないような施設があり、道も整備されている町であってほしい。

- いくつになっても、どこに居ても、周南市に戻って生活したいと思えるような町であってほしい。周南市は、徳山駅をはじめとして交通網が発達しているが、地域によっては近くにスーパーがないところもある。交通網を利用して、お店も商品を運び現在住んでいる人がより快適に過ごすことができればよいと思う。
- 徳山駅の図書館は、本や書店、子どもが過ごしやすいスペース、自習スペースあり、過ごしやすい環境である。今ある施設を、需要にあった施設に改修・改善していくとよい。
- 税負担が少なく、若者が暮らしやすい町になってほしいと思っている。地方自治体は、人口が減少し、財源も減少している。周南市も例外ではない。人口減少を食い止め、財源を確保したい。周南市の中山間地域の魅力をアピールして移住者を増やしたらよい。県外にいったん転出している子育て世代が、周南市に戻るよう、施設の整備や制度の充実を図ってほしい。また、懇談会の意見を反映して、いろいろな施設を造ってほしい。
- 山口県や周南市には緑や自然が多いので、山の斜面を利用して大きな遊園地を造ってほしい。
- 子育てに関する支援が手厚い町であってほしい。子育てに関する補助金や子育てについて学べるホームページや講演会が多くあり、子育ての悩みを相談できる場所が多くあったらよい。
- 子育てに理解がある地域であってほしい。給料等、働く環境を充実させてほしい。
- コロナの影響もあり、地域のイベントが制限され交流が少なくなっているので、交流が自然とできるような明るく活気のある町であってほしい。
- 皆さんからの前向きな意見を聞いて、皆さんが考えてくれた町を創っていかないといけないと改めて思った。私の孫も、皆さんと同じ世代である。人口減少の課題の意見もあったが、市長として危機感を感じている。この町の人口が 10 万 2 千人を切ると言われ「2050 年を乗り越えられる周南市になる」をパーパスに掲げ、カーボンニュートラルを進め、二酸化炭素の排出、実質ゼロを目標に掲げ取り組んでいる。市役所も企業も市民も一緒になって進めている、周南地区のコンビナートも多くの雇用を生み、税を収めてくれている。市長としてこの町をどのように繋いでいくか人口減少を大きな仕事として取り組んでいる。

【皆さん自身が、自分の将来や結婚、子育てにどのような考えを持っているか、自身が考える人口減少対策を教えてください】

- 今後、一つの地域で留まることなく過ごしたいと思っているが、徳山駅周辺など出かけたらずと、景色や人がとても良い町なので、戻ってきたい町である。
- よその町や外国を知ることが大切なことである。この町でずっと暮らしてほしいと言っているのではなく、いろいろな場所でいろいろな体験をしてほしいと思っている。外に出ると、この町の良いところが見えてくるかもしれない。もちろん、この町でずっと暮らしていただけることもうれしいことだが、外に出ても、いずれ周南市に戻ってこようかなど考えをもってくれること、世界で活躍する人になることもうれしいことである。どのような人生であれ、皆さんを応援したい。
- 中学生になって医療費がかかるようになっていたが無料化された。このような子育て支援があるとよい。経済的理由で子どもが生めない人もいると思う。支援を広げることで、子どもを育てることができ人口が増えていくと思う。

- 大切な意見である。これまで、医療費の無料化は、就学前からすべての小学生、中学生へと拡充してきた。来年の4月には高校生までの無料化する方針を出している。できるだけ、今の意見のように支援をしていきたい。今は、こどもまんなか社会を掲げ、多子世帯や多胎児がいる世帯などにも支援しているところである。必要な支援があれば、ぜひ教えてほしい。
- 自分が親になったら子どもには、やりたいことは自由にしてほしいと思っている。そのためには、子どもが楽しいと感じ、親も子どもここに居たいと思えるような町になってほしい。
- 夢が生まれる町にしないといけないと思う。私自身も3人の子どもを育て、孫が6人生まれている。子育ては様々な苦勞もあった。最近孫が生まれたが、今の世の中を考えた時に、地球温暖化の問題や税の負担の問題など憂慮する部分もあるが、この孫たちの世代のためにもより良い社会にしていけないといけないと、改めて市長としての重責を認識した。夢を持って子育てができるように、自由に子育てができるように、皆さんと一緒に町を創っていく人となり、力を貸してほしい。
- 自分たちがこの町に定住することを考えると、自分の子どもたちがここで住みたいと思える町であってほしい。人口減少は続くと思うので、そこを変えていければ周南市が今よりも発展する。
- 持続可能な社会ということが、まさに言われるとおりである。次の世代を見つめてくれていることがうれしく自分も同じように考えている。一緒に頑張りましょう。
- 周南市はコンビナートもあり、工業系の仕事はたくさんあり良いことであるが、自分は理学療法士の仕事に興味があり、その方面の仕事がやりやすい町であれば住んでみたい。
- この町はコンビナートもあり、町も支えられている。今は、いろいろなことができる時期なので自分の大きな夢に向かって歩んでほしい。自分のやりたい仕事をするのが、人生の生きがいや自分を大切にすることにつながると思う。
- 周南市は自然が豊かで静かで落ち着いた雰囲気である。生活して自分の心も形成されたところでもあるので、大人になってもこのままであってほしい。
- この町の良いところを見つけてくれていてうれしい。人情味があり、自然の豊かなことなど持続可能な社会の中で大切なことである。
- 高校生と一緒にAEDの研修を受けたが、大人も一緒に受講できたら健康意識も生まれると思う。
- すべての人が、健康で元気で長生きできるまちづくりが必要である。昔は看護師をしていたが、健康寿命を延ばすことも市政の柱にしている。来年は、歯や口腔の健康のことをしっかり行っていこうと考えている。皆さんも、スマホやタブレットなどを長時間見ることあると思う。自分で時間などルール決めて目など自分の体の機能を大切にして元気な体を作ってほしい。健康を守ることもまちづくりには重要なことである。

#### 【市長に聞いてみたいこと】

- 人をまとめる時に、大切なことを教えてほしい。
- 生徒会としてリーダーシップを取っていくことの気持ちを聞かれたのだと思う。いろいろな意見が出る中でまとめていくことになる。私が常に自覚していることは、人の意見をし

っかり聞き、受けとめ、将来を見つめてリーダーとしての自分の意見をまとめることである。そして、皆さんに納得をいただくよう努めることである。皆さんもリーダーとして、多くの意見をまとめることは大変だと思うが、失敗を恐れず取り組んでほしい。皆さんが、前に出ることで他の人もついてきてくれると思う。

○周南市の一番の強みはどんなことか。

○周南市だけにある魅力を教えてほしい。

●強みはたくさんあるが、長い歴史と先人たちの努力によって創られた町の基盤であると思う。戦争で焼失した後に復興に向けつくられた、通り、港、公園、動物園、ボートレース、周南緑地、コンビナート、4つのインターチェンジ、のぞみが停車する駅、学校などあらゆるものを先人たちがつくってくださっている。これらが、周南市の強みを発揮する基となっている。そして、豊かな自然、そこで暮らし優しい心を持った人々が一番の強みだと思っている。

例えば、ボートレースは県内に2箇所あるが、ボートレース徳山は売上金の一部である38億円を市に繰り入れてくれた。そのうち、20億円を子どもたちのための基金に入れている。美術館や文化会館、体育館などこうした施設が揃っている町は、県内でも少ないと思う。

先人たちの思いが詰まった町であるので、何を取ってもすべて素晴らしいものだと思う。今後、陸上競技場やテニスコートを改修し、水泳場を造っていく。これらが、ずっと在り続けるには、これらを維持しながらも、大きな変革も必要だと思う。

先日、周南公立大学の地域貢献度や志願者倍率が、全国の国公立大学の中で1位という発表があった。地域貢献度について言うと、この町の皆さんが学校や学生と一緒に地域の課題に取り組んだ結果だと思う。学校もすごいが、これを受け入れた市民がいることも素晴らしいことである。

他の町と比較しながらじっくり見ていくと、この町が持っている力や宝物が見えてくると思う。

●今日の懇談会で中学生の皆さんがとてもしっかりした考えや意見を持っているということを知ることができた。私たちにない皆さんの感性でこれからも意見を言ってほしい。その皆さんの力は、これからの周南市のまちづくりの大きな力となる。皆さんが生徒会のリーダーとして活躍できることを期待している。健康に気をつけて頑張ってください。